

## 1. 担当教員

梅崎昌裕（[umezaki@humeco.m.u-tokyo.ac.jp](mailto:umezaki@humeco.m.u-tokyo.ac.jp)）

田所聖志（[tadokoro@gipc.akita-u.ac.jp](mailto:tadokoro@gipc.akita-u.ac.jp)）

卯田宗平（[uda@asnet.u-tokyo.ac.jp](mailto:uda@asnet.u-tokyo.ac.jp)）

## 2. 授業のすすめかた

### Problem Based Learning (PBL)

与えられた課題について、自分のわからないことを明らかにし、それを明らかにするために必要な勉強をおこなう。勉強の成果をグループで共有し、矛盾点を議論し、理解を深める。最終的には、与えられた課題についての広範な知識と、その課題を解決するための考え方を身につけることを目標にする。

### 学びのサイクル

1 サイクルは2週間の講義で構成される。

● 1週目：医療人類学の「概念」あるいは「方法」の講義 → ケース（映像、文章、写真など）の提示 → 議論 → グループごとの学習と議論（宿題）

● 2週目：発表（10分）・議論（10分） → 採点（注） → まとめ

（注）教員、学生ともに、発表・討論を評価（すばらしい=4点、よい=3点、ふつう=2点）。評価はそれぞれのグループに所属する個人に帰属させる。

最高得点を獲得した学生は、講義の最終回に「優秀学生賞」を授与する。

授業で取り上げるケースの例：健康、胃ろう、現代医学、血の穢れ、民間療法、瀉血療法、プラセボ、輸血、長生き、割礼、健康食品、狂気、食物タブー、医療倫理、うばすて山、抗生物質、食人、延命、戦争、疫学、一夫多妻、一妻多夫、酒、嗜好品、サラリーマン、ハイヒール、マスク、臓器移植、統計学、売春、食物タブー、捕鯨、外来魚問題、携帯電話、輸血、健康食品、制服、ジョギング、学歴社会、外科手術、占い、年長者への接し方、魔女狩りなど。

### 3. スケジュール

4月25日 オリエンテーション(梅崎・田所)

5月2日 ① 信念・身体観(梅崎)

5月9日 ① 信念・身体観(梅崎・卯田)

5月16日 ② (五月祭による休講?可能なら実施)文化相対主義(田所・卯田・梅崎)

5月23日 ② 文化相対主義(田所・卯田・梅崎)

5月30日 ③ リスク論・Actor-based model(卯田・梅崎)

6月6日 ③ リスク論・Actor-based model (卯田・梅崎)

6月13日 (休講/SIH セミナー参加可能)

6月20日 ④ 今年度の新作(梅崎・田所・卯田)

6月27日 ④ 今年度の新作(梅崎・田所・卯田)

7月4日 ⑤ 今年度の新作(梅崎・卯田)

7月11日 ⑤ 今年度の新作(梅崎・卯田)(梅崎不在により他の曜日へ振り替え)

7月17-18日(暫定日程案) フィールド実習

(参考) 2010年度:千葉県白浜、2011年度:千葉県勝山、2012年度:千葉県鴨川・和田、  
2013年度:埼玉県秩父、2014年神奈川県三浦半島?

#### 履修にあたっての心構え

学びのサイクル①~③は、医療人類学の基本的な考え方を学ぶための教材を既に準備しています。学びのサイクル④と⑤については、履修生の発案により学ぶ内容を定めることを歓迎します。これからの医療・健康に医療人類がどのように貢献していけるのか、一緒に考えたいと思います。

### 4. 「医療」の人類学を学ぶ意義

エピソード1: 中米で下痢症コントロールの専門家として働く NGO 職員

子どもが一般的なウイルス感染によって下痢症になったときに、抗生物質を飲ませるのはナンセンスだ。脱水症状にならないように ORT(経口補液)を与えて、安静にするのがよい。ORT はバングラデシュの下痢症死亡率をずいぶん下げたときいたけど、ここでは全然だめだ。お母さんに説明して ORT を渡しても、実際に子どもが下痢になると全然つかってくれない。識字率も低いので、私の説明が理解できないのだろうか。

エピソード2: パプアニューギニア高地の男性

やばい。まえから好きだった隣村の A 子を誘惑して森に行ったのはよかった。しかし性行

為がおわってみたら、なんと A 子は生理中だった！それを言わないで私との行為に応じるなんて A 子は何を考えているんだ。どうしよう。ここままだと命が危ない。そういえば、日本から来ている若いやつは、いろいろ薬をもっているというはなしだ。彼にいい薬がないかきいてみようか。

#### エピソード3：イタリア旅行中の大学生

時差ぼけで昼寝をしてしまったので、夜中になっても全然寝れないよ。薬局で買ってきた睡眠薬でも飲んでみようか。あれ、睡眠薬なのに赤い。おかしいな、こんな色の薬を飲んだら眠れなさそう。

#### エピソード4：日本を初めて訪問した子ども

うわ、みんな変なのを足にはいてる。うちの村では裸足か、ぞうりを履くくらいだからおもしろいな。あの女の人が履いてるのは何だ。かかとの高さが 10 センチくらいもあるね。しかも、かかとの先が鉛筆くらいの太さしかないから歩きにくそう。ほら小石を踏んでよけたよ。あれじゃ山道は歩けないね。なんでわざわざあんなの履くんだろう。変なの。

#### エピソード5：A 国の長老

A は、今朝は水も飲まなかったのか。わかった他の村に伝令を送って、はやく見舞いに来るように伝えよ。村の若者は、A を埋める墓の穴掘りをはじめよ。

エピソード6：中国の田舎の食堂で料理を注文していると、厨房からコック李さんに「逆注文」される（ほぼ実話）。

はあ、何であんたたちはヒツジの肉ばかり注文するの？

ダメねえ。ヒツジやニワトリの肉を食べるときは、必ず苦瓜や冬瓜も注文しなさい。

分かった？ いま、苦瓜の卵炒めと冬瓜スープも作るよ。おいしいよお。

日本人は食事の注文もうまくできないね、ホント。

(決して苦瓜と冬瓜を売ろうとしているわけではありません)

#### エピソード7：あなた 自分の常識と相手の常識

--

## 5. 医学をめぐる現代社会の特異性

- ・産業革命によって死亡と出生のコントロールが可能になった。
- ・「死」の定義の変容
- ・「死なないこと」を目標に発展してきた臨床医学の、人類の幸せを阻害する側面について。
- ・現代医学と、漢方医学と、いわゆる「伝統医学」の関係性

## 6. 「概念を定義してケースを読み解く」? (田所)

“Illness”, “Sickness”, “Disease” という概念の有効性